



JAPANESE SOCIETY FOR INTERNATIONAL NURSING (JSIN)

国際看護研究会 NEWSLETTER No.78 2015



本号の内容は以下のとおりです。

- I. 第 80 回運営委員会報告
- II. 第 77 回国際看護研究会講演会報告
- III. 国際看護研究会第 18 回学術集会のお知らせ
- IV. 海外情報
- V. スタディツアーのご案内
- VI. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

※本文に記載されている振込先やメールアドレスについては、現在は使われておりませんのでご注意ください。

I. 第 80 回運営委員会報告

国際看護研究会第 80 回運営委員会は 2015 年 6 月 13 日（土）に JICA 地球ひろば（JICA 市ヶ谷ビル）で開催された。会議では、第 18 回学術集会準備状況として、参加申し込みと演題応募状況等について報告された。

また、会計係より提出された 2014 年度決算案および 2015 年度予算案について協議された。決算案の中に趣旨不明な収入がある、運営委員選挙の経費が記載されていない等不明点があるため、書類を確認して必要に応じて修正することになった。2015 年度予算案については、収入に見合った支出とする必要があり、経費の見直しをして修正することになった。

第 7 回スタディツアーについてはインドネシアを旅行先として 2 月下旬か 3 月上旬に開催することとした。

学会化ワーキンググループの進捗状況について報告があり、メーリングリストを使用して学会化のメリット・デメリットや学会化した場合の経費、雑誌発行等について意見交換しているが、まだ議論が十分ではなく、運営委員の参加が求められた。

II. 第 77 回国際看護研究会講演会報告

第 77 回の講演会は、2015 年 6 月 13 日（土）に JICA 市ヶ谷ビルで開催されました。国際看護研究会代表でもありません森淑江先生（群馬大学大学院保健学研究科）を講師に迎え、「タイで学んだ看護の原点－国際看護の実習で得られたもの－」についてご講演いただきました。



講演抄録

タイで学んだ看護の原点－国際看護の実習で得られたもの－
群馬大学大学院保健学研究科 森 淑江

2008 年 1 月に保健師助産師看護師養成所指定規則が改定され、新たに統合分野全 12 単位（在宅看護論講義 4 単位、看護の統合と実践 4 単位、在宅看護論実習 2 単位、看護の統合と実践実習 2 単位）が設けられた。そして看護の統合と実践の中には 1996 年の改訂時には基礎看護学に含まれていた「国際社会において、広い視野に基づき、看護師として諸外国との協力を考える内容とする」が留意点として明記された。

この看護の統合と実践の実習 2 単位をどうするかについて発表者の勤務する群馬大学では議論を重ね、科目名を「看護学総合実習」として 4 年生の最後の実習として位置づけて 2012 年より新たな実習科目を開設した。実習期間は 2 週間とし、看護教員全員が担当し、どの分野で実習するかについては学生の希望を聞きながら 10 分野に学生を配置することになった。国際看護学を担当する発表者も看護教員である

ため担当を義務付けられた。しかし群馬大学では国際看護学を必修科目として3年次前期に1単位30時間で学習させているが、講義（時に演習を含む）のみであり、実習は課していない。即ち基礎となる実習がないにもかかわらず最後の実習として国際看護学分野の実習を計画・実施しなければならず、どこでどう実習すれば国際看護の実習であり、なおかつ看護基礎教育最後の実習である看護学総合実習になるのかと頭を悩ませた。

その時に考えたことは1. 多くの学校で行っているような海外への研修旅行や単なる見学で終わらせたくない、2. 日本とは異なる世界を学生に体験させたい、3. 国際看護としての実習を体験させたい、ということと、かつてタイを訪問した時の学生が興奮した面持ちで語ったことであった。2009年3月に学生6名とともにタイのコンケン県立シリントン病院内にあるハンセン病セルフケアクリニックを訪問した時に学生は「看護の素晴らしさがよくわかりました。基礎実習を1週間行うよりもずっと勉強になりました!」と語っていた。ここに来る患者自身が行うケアは傷のある足を水につけ、その後ブラシで足をこすり、ワセリンを塗り、靴下を履くだけであった。これを看護師の指導の下にクリニックに来る時だけでなく家庭でも一生懸命行っている患者の傷はきれいに治癒過程をたどっていた。まさにセルフケアの効果・看護の「力」を目の当たりにすることで看護の素晴らしさを実感したのである。その感動を他の学生にも味わってほしいと思い切っこのクリニックを長年に渡って運営してきた阿部春代看護師（公益社団法人好善社）に相談し、快く引き受けていただいたのである。



こうして2012年からここでの実習がスタートした。現在では表1のような日程と内容で実習を行っている。学生がハンセン病とこの病気に罹った患者がどのような歴史をたどってきたのか理解を深めるために映画のDVDを導入として見せ、日本国内に13か所あるハンセン病療養所の一つで群馬県草津町にある栗生楽泉園で実習をし、ハンセン病だけでなくタイ語やタイの歴史などを調べて実習要項を作成してタイでの実習に備えている。

表1 看護学総合実習（国際看護学分野）実習日程

月	期 間	内 容
6月	半日	映画「砂の器」鑑賞
6月	1泊2日	栗生楽泉園（草津）で実習
8月	3日間	ハンセン病医学夏期大学受講
9月	5日間（旅行期間を入れて8日間）	タイ コンケン県立シリントン病院ハンセン病セルフケアクリニック及び病棟での実習

タイの実習ではセルフケアクリニックでの患者ケア、訪問看護、デイケア、病棟実習を体験したり、ハンセン病の患者を支えるフットケア担当者・感染症外来の医師や看護師・プライマリケアユニット担当医師など病院の多くの職員が学生たちができるだけ多くのことを学べるようにと協力してくれており、あつという間の5日間である。



実習に参加した学生からは、毎年のように最終日のカンファレンスで、「ここで行われていることは看護の原点だと思った」という発言がある。タイでの実習を通して学生たちはセルフケアの重要性と効果を実感し、「生活の傷」は生活のあり方を整えて治す、対象の生活過程に働きかけて回復を促すという看護の原点を改めて学んでいるのである。実習終了後に学生が提出するレポートには、看護することの楽しさを感じたこと、タイ語がほとんどわからなくてもお互いに心の交流ができ、何らかの反応を返す

というコミュニケーションの大切さを実感した、阿部看護師という素晴らしいロールモデルに出会えたなど綴られており、多くのことが得られる実習となっている。

なお経費について昨年度は約 13 万円かかったが、学生に対しては後援会から 3 万円の補助があり、教員に対しては公費として実費が支払われている。

このような素晴らしい体験をする機会を提供しご指導くださる看護師の阿部春代様、公益社団法人好善社代表理事 棟居勇様、シリントン病院の皆様、その他関係者の皆様に感謝申し上げます。

この実習の初年度の様子については日本看護協会出版会の web (以下の URL) でお読みいただけます。
<http://jnapcdc.com/archives/5383>

Ⅲ. 国際看護研究会第 18 回学術集会のお知らせ

国際看護研究会では、国際看護に関する研究を発表し知識を深め、また、国際看護に関心を持つ方々の交流をはかることを目的とし、1998 年より毎年学術集会を開催しております。今年度は、『途上国と遠隔教育でつなぐ国際看護協力』をテーマに、第 18 回学術集会の準備を進めております。遠隔教育の意義について、そして今後の更なる活用の可能性について皆様と一緒に考えていきたいと存じます。

シンポジウムは「広がる世界—転機となった国際協力— (仮)」をテーマに企画しております。国際協力への参加が人生の転機になり、別の世界に飛び込んだ方々にお話しいただき、国際協力活動の意義について考えて行きます。

また、一般演題では、全国の看護職の国際看護に関する研究や活動実践報告、異文化看護や在日外国人看護についてご発表いただきます。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日 時：平成 27 年 9 月 26 日 (土) 10:00 開始 (受付開始: 9:30)

会 場：独立行政法人国際協力機構 JICA 横浜 (神奈川県横浜市中区新港 2-3-1)

テーマ：「途上国と遠隔教育でつなぐ国際看護協力」

会 長：辻村 弘美 (群馬大学大学院保健学研究科看護学講座)

参加費用：

事前登録 (締切 8 月 31 日まで)

会 員：一般 2,500 円 学生 1,500 円 非会員：一般 4,000 円 学生 2,000 円

当日参加

会 員：一般 3,000 円 学生 1,500 円 非会員：一般 4,000 円 学生 2,000 円

演題募集期間：平成 27 年 4 月 15 日～7 月 21 日（火）17：00 まで（延長しました）

問い合わせ：国際看護研究会第 18 回学術集会事務局

HP：<http://jsin18.web.fc2.com/>

Mail：kokusaikango18@gmail.com

IV. 海外情報

JICA 青年海外協力隊 26 年度 3 次隊 三塚麻貴氏

青年海外協力隊に参加し、2015 年 1 月からバヌアツで看護師として派遣されています。国際協力の世界に一步を踏み出したばかりで、初心者マークがまだピカピカしていますが、自分に与えられたチャンスとチャレンジできる環境に感謝し、この国でできることを精一杯行ってみようと思っています。読者の皆様には国際協力初心者の私の活動をご紹介するのは、自分の未熟さをさらすようで申し訳ない気持ちもありますが、等身大の私の活動を見守っていただけたらと思います。

いつからか“同じ時代に生を受けているのに、生まれる国の知識不足や環境が原因で命が短くなっているのはおかしいな、生まれる国は選ぶことは出来ないのに”と漠然と胸に抱いていました。千葉大学看護学部へ進学し、夏季休暇を利用して NPO 団体(SHARE)主催のカンボジア母子保健スタディツアーに参加したことは、心のどこか片隅に置きざりにしていたその想いをくっきりと蘇えらせました。ボロボロの衣服をまとい、車の中にいる私に傷んでいる食べ物を見せつけて買ってくれと窓を叩く 5 歳前後の女の子。竹で臍の緒を切ることで感染による死亡。医学知識のない伝統的産婆の存在。町の中心部と農村部の医療格差…。たくさんの物事を見て聞いて感じて、『衝撃を受けた』というのが正直な感想でした。

ただ、この時同時に、このような現場で活動してみたいという想いも抱きました。看護師になってからはインドのマザーテレサの施設を訪れ、1 週間弱のボランティア活動をしたことはこの想いをさらに強くさせました。都内の総合病院の外科病棟に約 3 年勤務し、青年海外協力隊へ応募、今回バヌアツへ看護師として派遣される運びとなりました。

今回は、1) バヌアツの概要 2) 活動地域の概要 3) ボランティア要請背景についてお伝えしたいと思います。

1) バヌアツの概要（写真は、シャンパンビーチと呼ばれる任地に近いビーチ）

バヌアツ共和国は 83 の島国からなり、全ての島の面積を合わせても新潟県ほどの大きさの小さな国です。19 世紀に主にイギリスとフランスから商人やキリスト教宣教師たちが続々と入植を始めます。そして、世界各地での対立の例にもれず両者の利害関係は衝突し、その結果 1878 年、英仏 2 国でバヌアツを統治することになりました。以後、バヌアツは違う法律、違う政治システムをもつたつの国の支配下に置かれることになりました。独立を果たしたの



はそれからおよそ 100 年後の 1980 年のことです。共通語はビスラマ語ですが、学校では英語またはフランス語で教育がなされるため、ほとんどの人がビスラマ語に加えてどちらかの言語が話せます。

首都ポートビラはエファテ島に属し、東側はフィジーのナンディ、西側にはオーストラリアのケアンズがほぼ同緯度に位置しています。南北に 1200 km にわたって広がる群島からなるこの国は、南部の亜熱帯から北部の熱帯気候までと幅広く、11 月から 3 月までの夏季は雨が多く、気温も 30 度を超えることが多くあります。7 月のこの時期は冬場にあたり、朝晩は長そでと靴下を着て過ごしています。

2) 活動地域の概要

バヌアツの島々は 6 つの州にわけられており、私の任地はサンマ州に含まれるエスピリッツサント島に属します。エスピリッツサント島はバヌアツ共和国最大の島であり、首都ポートビラのあるエファテ島から北北西約 250 km の所に位置しています。

配属先は、島の都心部からのびる舗装路を車で 1 時間ほど北上した場所にあるポートオーリーという村にあります。村の人口は 2000 人程度、家屋は 400 件程度存在する、バヌアツではかなり規模の大きい村となっています。5 つのセクター(区画)が存在し、セクター 1・2 とセクター 3~5 の村人とは日常使用言語が異なります。互いの言語の理解度は人それぞれのように、両者が会話をするときには共通語であるビスラマ語を使用することが多いです。この村の教育機関は、幼稚園からセカンダリースクールまであり、全てフランス語で授業がなされています。またこの地域はカトリック信仰が厚く、特に日曜日の朝には多くの村人が祈りを捧げに教会に集まります。

3) ボランティア要請背景

新規の要請であり、私はこの村のヘルスセンターに所属しています。バヌアツでは設備が整い、医師が常駐する医療施設は都市部に限られるため、配属先のような農村部における疾病予防は非常に重要となっています。しかし、村人の健康に関する知識は非常に低く、予防可能な感染症の蔓延、疾病の重篤化を招いています。当ヘルスセンターでは診療とともに村人への健康教育に力を入れようとしていますが、診察や健診の前に看護師が一言伝える程度にとどまっているのが現状です。視覚的教材や具体物の作成、場合によってはアクティビティを取り入れたワークショップを行うなど、村人に理解してもらいやすく、効果的な健康教育プログラムへの改善を支援できる人材が求められ要請となりました。2 年間、ヘルスセンターに所属し、生活習慣病や性感染症の予防啓発や母子保健、家族計画、公衆衛生等の基本的知識の普及が求められています。(次号へ続く)

次回は、4) 配属先の概要 5) 活動計画準備状況についてお伝えします！

V. スタディツアーのご案内

平成 26 年 2 月下旬または 3 月初旬にインドネシアでスタディツアーを実施します。貧困層の子どもたちとの交流の他、保健省地方局、病院・保健ポスト、火山噴火の被災地を訪問する予定です。10 名程度を募集しますが、5 名以上の参加で遂行します。費用は約 20 万円です。内容が若干変更する場合があります。

参加を希望する方は、国際看護研究会事務局へメールでお知らせください。

国際看護研究会事務局メールアドレス : kokusaikango@iris.ocn.ne.jp

皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

いつも本研究会の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

1. 2014年度の会費を未納の方は、至急お振込みをお願いします。

研究会は会員の皆様からお振込頂く年会費により運営されています。納入年度は封筒の宛名の右下に会員番号とともに記載されています。

年会費：一般会員 3,000 円、学生会員（大学院生を含む） 2,000 円

（2015 年度会費は 2015 年 7 月末日までにご入金下さい）

年会費振込先：国際看護研究会 郵便振替口座番号 00150-6-121478

銀行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名 ○一九 店 店番 019 預金種目 当座預金 口座番号 0121478

振込用紙の通信欄にご記入いただく内容：

【一般会員の方】・一般会員の口に印を入れ、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

【学生会員の方】・学生会員の口に印を入れ、学校名・学部学科・学年、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

*払込用紙の金額 3,000 円を 2,000 円に修正してご使用ください。

2. 最近 NEWSLETTER が転居先不明で戻ってくる場合が多くなっています。転居された方は研究会事務局 E-mail (kokusaikango@iris.ocn.ne.jp) あてに新住所をご連絡下さい。尚、海外にも NEWSLETTER をお送りしています。

3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報告、活動国の様子、医療事情、あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。

4. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。

5. 過去の学術集会抄録の残部があります。購入を希望される方は宛先を書いた A4 サイズの封筒と抄録代金 500 円及び郵送料 215 円の合計 715 円分の切手（100 円以下の小額が望ましい）を国際看護研究会事務局にお送りください。その際何年の第何回の学術集会抄録を希望されるのか明記してください。2015 年 3 月まではメール便で送料 82 円でお送りできましたが、廃止になったため、郵便局の冊子小包で送ります（抄録 155g で送料 215 円）。

.....

国際看護研究会連絡先（事務局）／NEWSLETTER 発行元

E-mail : kokusaikango@iris.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsin.jp/>

年会費振込先：国際看護研究会 郵便振替口座番号 00150-6-121478

ゆうちょ銀行 ○一九 店 店番 019 預金種目 当座預金 口座番号 0121478

※個人名で書かれた原稿内容は研究会の意見を反映するものではありません。また、NEWSLETTER の記事に関して無断転載を禁じます。皆様のご理解をお願いいたします



国際看護研究会 NEWSLETTER No.78 2015

2015年7月15日発行

無断複写複製不可